資　料　提　供
令和８年７月７日
課　名：河川課
担当者：吉川
内　線：3935
直　通：082-513-3937

みんなの力で水害に備え　地域の未来を守ろう

「流域治水シンポジウムひろしま 2026」 を開催します

日時:令和8年8月3日(月)13 時 00 分～　　場所:広島 YMCA 国際文化センター

災害に強い地域づくりに向けて、多くの皆様に「流域治水」についての理解を深めていただくために、"流域治水シンポジウムひろしま 2026"を開催します。

気候変動の影響により、全国各地で水害が激甚化・頻発化しており、本県においても平成 30 年７月豪雨などにより大規模な浸水被害が発生しています。水害から地域を守るために、行政による河川改修等のハード整備に加え、流域全体のあらゆる関係者が協働して水害リスクの軽減に取り組む「流域治水」の重要性が高まっています。

昨年度の開催状況

シンポジウムでは、「流域治水」の専門家や気象予報士である勝丸恭子さんの基調講演をはじめ、防災教育及び伝承に取り組む先生や大学生の方、流域治水に取り組む企業にご登壇いただき、「流域治水が自分ごとになるきっかけとは」をテーマとしたパネルディスカッションを行います。

多くの皆様に「流域治水」の考え方や重要性について知っていただき、県民、事業者、行政が一体となって災害に強い地域づくりを進める契機となることを期待しています。ぜひ、ご取材いただきますようお願いします。

１　**日時**：令和８年８月３日（月）　13 時 00 分～16 時 30 分（開場 12 時 20 分）

２　**場所**：広島ＹＭＣＡ国際文化センター（広島市中区八丁堀７-11）本館地下１階　国際文化ホール

３　**定員**：２００名（事前参加申込み順）

４　**実施内容**

プログラム	登壇者		テーマ・肩書
基調講演	講演者	中村　晋一郎	「私たちにもできる流域治水」
		勝丸　恭子	「アップデートしよう"令和の防災"」
事例紹介	説明者	坂口　守	「豪雨災害の教訓を日々に根付かせるために」
		浦嶋　裕子	「自然を理解、親しむことから流域治水を」
パネル ディスカッション	ファシリテーター	中村　晋一郎	名古屋大学 大学院工学研究科 土木工学専攻 准教授
	パネリスト	勝丸　恭子	気象予報士、防災士、 太田川水系・小瀬川水系流域治水大使
		坂口　守	呉市立天応学園　校長
		浦嶋　裕子	ＭＳ＆ＡＤホールディングス　兼 三井住友海上火災保険　上席スペシャリスト
		山根　更	安田女子大学 公共経営学科、防災士

取 材 申 込

「流域治水シンポジウムひろしま 2026」

日時：令和８年８月３日（月）13 時 00 分～16 時 30 分（開場 12 時 20 分）
場所：広島ＹＭＣＡ国際文化センター本館地下１階 国際文化ホール

取材を希望される方は令和８年７月 30 日（木）17 時 00 分までに電子メールにより事前登録をお願いします。

メールアドレス：dokasenka@pref.hiroshima.lg.jp

貴　社　名		
所属部署名		
ご担当者の氏名（ふりがな）		
ご同行者の氏名（ふりがな）		
ご連絡先	住　　所	
	電話番号	
	メールアドレス	
カメラの有無		スチールカメラ　　台　／　ムービーカメラ　　台

取材にあたってのお願い

以下の注意事項をご確認いただき、ご協力をお願いします。

○　報道関係者は、シンポジウムの円滑な進行にご協力くださいますようお願いします。
○　当日、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用いただきますようお願いします。
○　当日、受付にて必要事項を記入の後、担当者の指示により会場へ入場をお願いします。

〈問い合わせ先〉

広島県　土木建築局　河川課　流域治水推進担当　　TEL：082-513-3937

入場無料

流域治水シンポジウム
ひろしま 2026

流域治水　広島県

広島県では、近年、平成26年8月豪雨や平成30年7月豪雨、令和3年7月・8月豪雨などにより、
大規模な水害が頻繁に発生しています。

開催日時　8月3日(月)　13:00～16:30（開場12:20～）

場　所　広島YMCA国際文化センター　**会場定員**　200名

みんなの力で水害に備え 地域の未来を守ろう

基調講演・ファシリテーター
名古屋大学 大学院工学研究科
土木工学専攻 准教授
中村 晋一郎

基調講演・パネリスト
気象予報士、防災士、
太田川水系・小瀬川水系流域治水大使
勝丸 恭子

事例紹介・パネリスト
呉市立天応学園 校長
坂口 守

事例紹介・パネリスト
MS&ADホールディングス
兼 三井住友海上火災保険
上席スペシャリスト
浦嶋 裕子

パネリスト
安田女子大学 公共経営学科、
防災士
山根 更

プログラム概要

概要説明
13:05～13:25

広島県における流域治水の推進

主催者　広島県知事
横田 美香

基調講演
13:25～14:25

私たちにもできる流域治水

基調講演①　名古屋大学 大学院工学研究科 土木工学専攻 准教授
中村 晋一郎

アップデートしよう "令和の防災"

基調講演②　気象予報士、防災士、太田川水系・小瀬川水系流域治水大使
勝丸 恭子

事例紹介
14:35～15:05

豪雨災害の教訓を日々に根付かせるために

事例紹介①　呉市立天応学園 校長
坂口 守

自然を理解、親しむことから流域治水を

事例紹介②　MS&ADホールディングス 兼 三井住友海上火災保険 上席スペシャリスト
浦嶋 裕子

パネルディスカッション
15:15～16:25

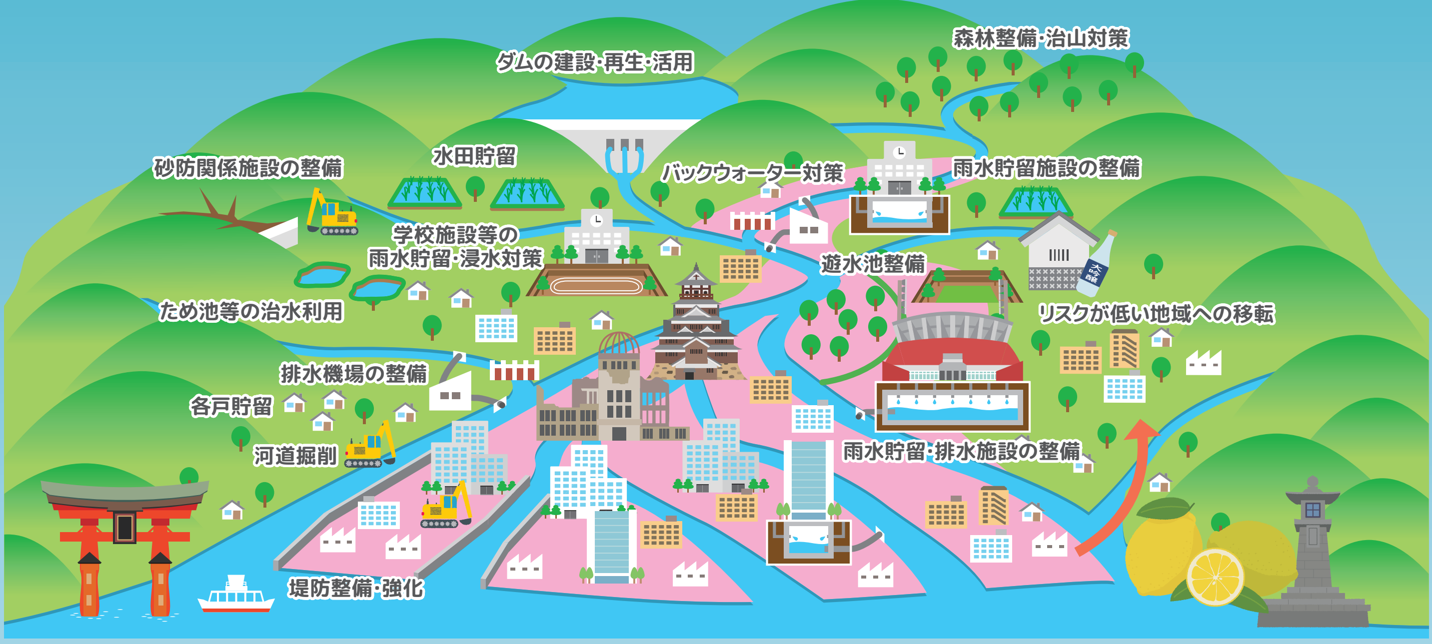
テーマ　「流域治水が自分ごとになるきっかけとは」

ファシリテーター	名古屋大学 大学院工学研究科 土木工学専攻 准教授	中村 晋一郎		
パネリスト	気象予報士、防災士、太田川水系・小瀬川水系流域治水大使	勝丸 恭子	安田女子大学 公共経営学科、防災士	山根 更
	呉市立天応学園 校長	坂口 守	国土交通省中国地方整備局 河川部 河川計画課長	田宮 子良
	MS&ADホールディングス 兼 三井住友海上火災保険 上席スペシャリスト	浦嶋 裕子	広島県土木建築局河川課 流域治水推進担当監	吉川 克明

主催：広島県　　後援：国土交通省中国地方整備局

「流域治水」という言葉をご存じでしょうか？

気候変動の影響による水害の激甚化・頻発化を踏まえ、行政だけでなく、
川とともに暮らす地域住民や事業者、関係者が協働し、流域全体で「水害に強い地域づくり」に取り組むという考え方です。
今回のシンポジウムでは、「流域治水」や「防災」に関わる身近な取組について、様々な情報が展開されます。



講演者プロフィール

名古屋大学
大学院工学研究科
土木工学専攻 准教授

中村 晋一郎

基調講演
ファシリテーター

1982年宮崎県都城市生まれ。東京大学大学院修了後、民間コンサルタント会社、東京大学 特任助教、名古屋大学 専任講師などを経て、2018年11月より現職。専門は水資源学、水文学、国土デザイン学。アジアでの水管理や、人と水の関係性について研究・教育・実践を行っている。博士(工学)。

気象予報士、防災士、
太田川水系・小瀬川水系
流域治水大使

勝丸 恭子

基調講演
パネリスト

広島県出身。横浜国立大学を卒業後、広島の民放に就職し報道記者や中継ディレクターを務める。退職後に気象予報士の資格を取得し、2010年から15年間に渡ってNHK広島放送局気象キャスターとしてテレビ出演。講演活動は広島県内をはじめ中国地方各地で多数。

シンポジウムへのお申込み

右記のQRコード及び下記の県HPから
お申込みを受付しております。
項目に漏れなく記入の上、送信ボタンを押してください。

シンポジウム会場参加申込み締め切り

7月30日(木)17時まで

※先着順とし、定員になり次第、締め切ります。

気象災害等によりやむを得ず中止となる場合は下記の県HPでお知らせします。

録画配信について YouTube

シンポジウムの録画映像を
下記の県HPにおいて公開(9月頃予定)

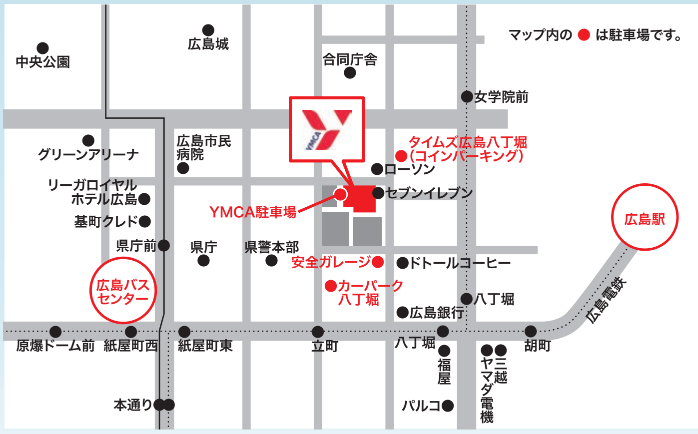
視聴無料

流域治水シンポジウムひろしま 2026 検索

開催会場

広島YMCA 国際文化センター
本館地下1階：国際文化ホール

〒730-8523 広島県広島市中区八丁堀7−11



お問い合わせ先　広島県 土木建築局 河川課 流域治水推進担当

TEL：082-513-3937　FAX：082-227-2206　メール：dokasenka@pref.hiroshima.lg.jp